



住宅・建築プレゼンテーションソフト

3DマイホームデザイナーPRO10EX

クイックガイド

対応

3DマイホームデザイナーPRO10

3DインテリアデザイナーNeo10

3D住宅リフォームデザイナー10



5つのステップに沿って解説します

STEP1	STEP2	STEP3	STEP4	STEP5
セットアップ	起動	平面 プラン	3D デザイン	プレゼン

STEP1 | セットアップ

Windows11 にセットアップする手順をご案内します。

- 1 セットアップディスクをDVDドライブに挿入します。

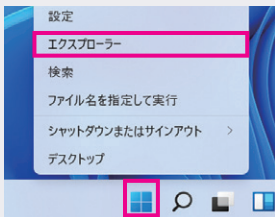


- 2 画面右下にDVDドライブのメッセージが表示されます。このメッセージの中をクリックします。

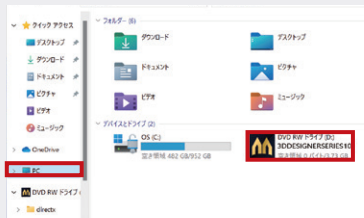


※上記のドライブのメッセージが表示されない場合

- 2 画面中央部分下のWindowsの【スタート】ボタンをクリックし、【エクスプローラー】を選択し開きます。



- 【PC】をクリックし、右側に表示されたDVDドライブの【3DDESIGNERSERIES 10】をダブルクリックします。



- 4 に続きます。

- 3 ディスクドライブからメッセージが表示されます。【AUTOSEL.EXEの実行】をクリックします。



- 4 【START】をクリックします。



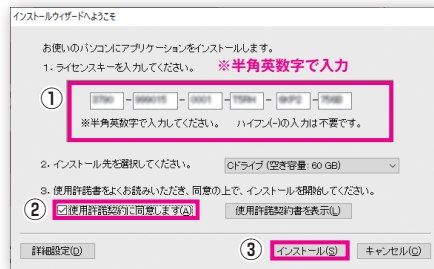
【START】をクリック後、【ユーザーアカウント制御】画面が出た場合は、【はい(続行)】をクリックして次へ進んでください。

- 5 ライセンスキーを入力します。セットアップディスクのケースに貼られたライセンスキーを入力欄に半角英数字で入力してください。

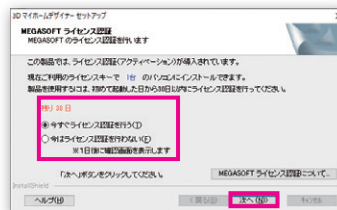


ライセンスキー入力後、「使用許諾契約書を表示」をクリックし、内容をよくお読みください。

使用許諾契約をよくご理解の上、「使用許諾契約に同意します」にチェックをつけて、【インストール】をクリックし、インストールを開始してください。ファイルのコピーが始まります。

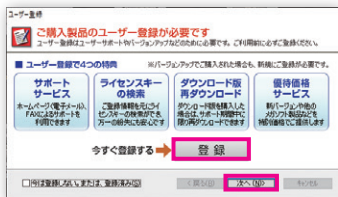


- 6 インストールが終了したら、【メガソフトライセンス認証】で認証を行います。いくつかのオプションを選択して【次へ】をクリックします。



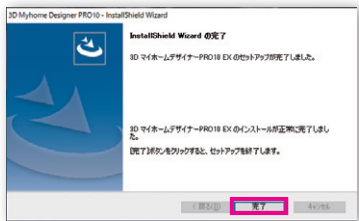
ライセンス認証をすぐ行う場合は、【次へ】をクリック後、画面の案内に従って認証を完了してください。

7 【ユーザー登録】画面から【登録】※を行った後、【次へ】をクリックします。



※ユーザー登録用のホームページが別途開きます。

8 【Install Shield Wizard の完了】画面で【完了】をクリックし、セットアップディスクを取り出します。



インストール完了です。

STEP2 | 起動

セットアップ後のソフトの起動方法についてご案内します。

1 デスクトップのアイコンをダブルクリックして、製品を起動します。



🔗 オンラインアップデートの案内が出た場合は、アップデートをおこなってください。

2 メインメニュー画面が起動します。



メインメニュー画面

- A** 新規作成時、プランにあったタイプを選択し始めます。
- B** 作成したファイルを選んで開きます。
- C** 間取りサンプルを開きます。
- D** 3Dサンプルを開きます。
- E** オリジナルのパーツを作成するときに利用します。
- F** 以前に使用したファイル履歴を選択してファイルを開きます。
- G** インターネットに接続して最新のプログラムに更新します。
- H** メインメニュー画面を閉じます。

3 プランに合ったタイプを選択し、プラン作りを始めます。



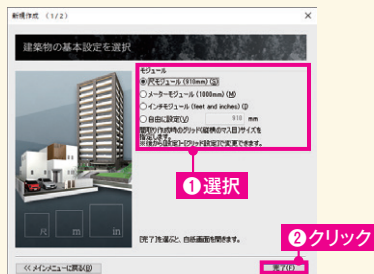
🔗 選択するタイプに合わせた階高・天井高などが設定されています。

間取り編集画面が開きます

最初に簡単な操作を体験しましょう!

間取り画面で平面レイアウト作成、3D画面で意匠・装飾の検討・確認をおこないます。
はじめにキッチンを作成しながら、間取り画面と3D画面の基本的な操作を確認してみましょう。

1 建築物の基本単位(モジュール)を設定します



1. ここでは[尺モジュール(910mm)]を選択。
2. [完了]をクリック。
3. 間取り画面が開きます。

2 キッチンの部屋を配置します

部屋作成 を選択します。

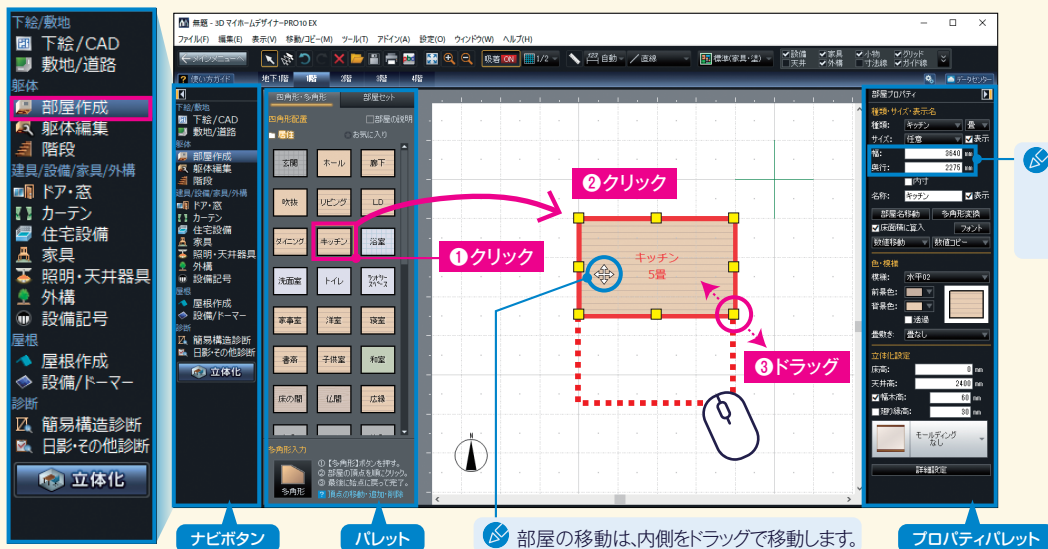
1. パレットの【キッチン】をクリックで選択。
2. 作図エリアでクリックして配置。
3. 黄色のハンドルをドラッグして部屋の形を変更。

マウスホイール操作による画面操作

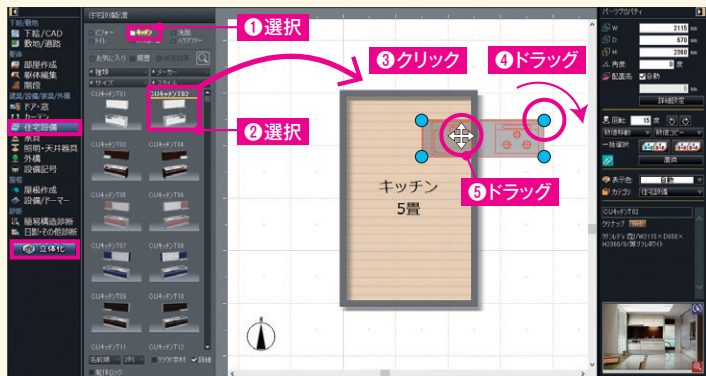
【拡大・縮小】
ホイールを前後
に動かす。



【画面スクロール】
ホイールを押し込みな
がら、マウスを動かす。



③ システムキッチンを設置します



住宅設備 を選択します。

1. パレットの[キッチン]を選択。
2. パレットから[CUキッチンT02]を選択。
3. 部屋の中でクリック。
4. 水色のハンドルをドラッグして回転。
5. ドラッグしてキッチンを右下に配置。

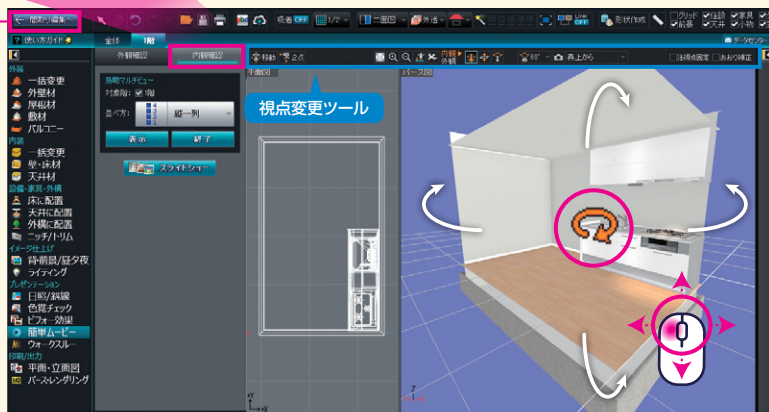
立体化 をクリックし、
作成したキッチンを3D画面で
見てみましょう

配置した部屋や設備を削除するには、選択しキーボードの[Delete]キーで削除します。

④ 3D画面で確認します

内観確認

を選択し、視点変更ツールを使って内観を確認します。



回転してみましょう。

1. [登録視点リスト]から[1階キッチン]を選択。
2. **見回す**をクリック。
3. マウスの左ボタンを押したままマウスを上下左右に移動。

前後に移動してみましょう。

1. **水平移動**をクリック。
2. パース図上で上/下方向にドラッグすると前方向/後ろ方向に移動。

視点変更ツール 3Dの表示状態を切り替えられるツールがボタンで表示されています。
[その他の視点変更方法について：参照P.18 視点の設定方法]

マウス操作による視点変更操作

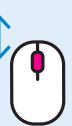
【回転】

右ボタンを押しながらマウスを動かす。



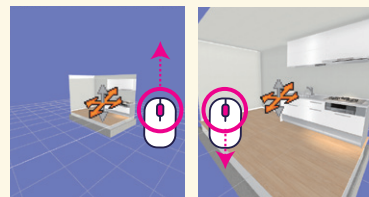
【拡大・縮小】

ホイールを前後に動かす。



【上下左右移動】

ホイールを押し込みながらマウスを動かす。



← 間取り編集へ

をクリックして、間取り編集画面に戻ります。

間取りをレイアウトしましょう!



部屋を組み合わせて、柱や階段、ドア・窓、住宅設備、家具などを配置して、間取りを作成します。

STEP3 平面プランの作成

平面プランを作成するための基本的な操作を説明します。

間取り画面

フロアタブ

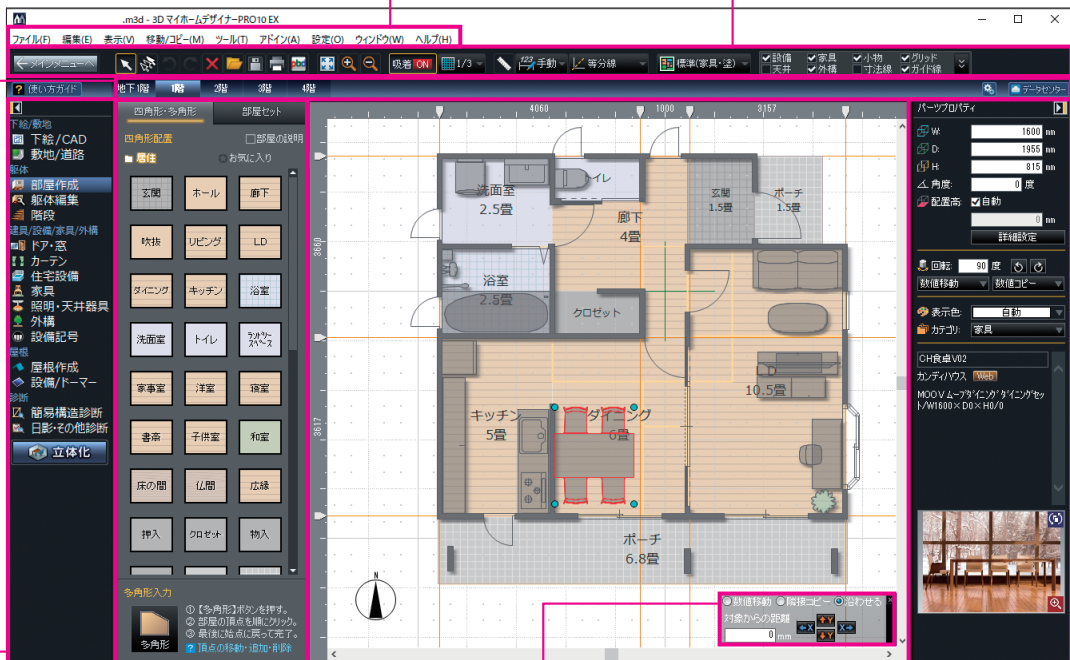
編集するフロアを選択し、切り替えます。

メニューバー

搭載されている機能を、項目ごとにまとめています。

ツールバー

よく使う操作をワンクリックで実行できるように、ボタンで表示しています。



ナビボタン

ナビボタンを選択すると、作業内容に応じたパレットに切り替わります。

パレット

選択したメニューや「ナビ」によって、作業に必要な素材、設定項目が表示されます。

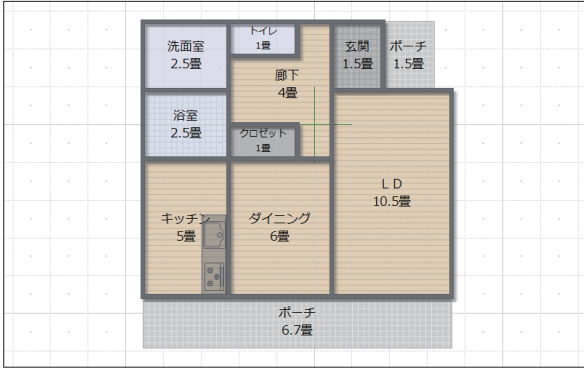
シフトバッド

家具や入力済みの壁などを選択すると表示されます。数値移動やコピーができます。

プロパティパレット

選択した要素の設定項目や詳細情報が表示され、編集できます。

1 間取りを作成します



部屋作成 を選択します。

左の図を見本に、先に配置したキッチンを基準にして、廊下以外の部屋を、四角形の部屋で配置します。

畳数を表示するには、画面右 [部屋プロパティ] の「サイズ」にチェックを入れます。



[レイアウトする前に:参照 P.08 間取りをレイアウトする際に便利な設定]

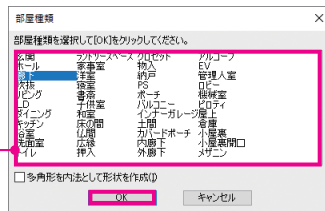
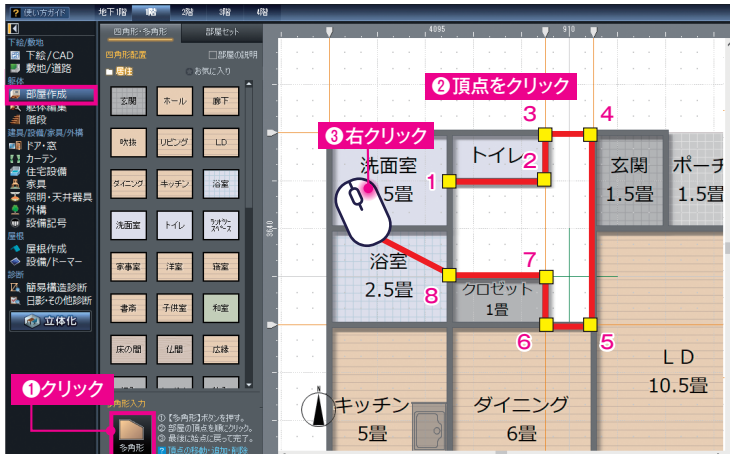
廊下を多角形の部屋で作成します。

- ① パレット下部の [多角形] をクリック。
- ② 部屋の頂点を「8」まで順番にクリック。
- ③ 何もないとこで右クリックで終了。

始点に戻ってクリック、「8」でダブルクリックでも終了できます。

- ④ 部屋種類で [廊下] を選択して [OK] をクリック。

四角形の部屋を選択して [部屋プロパティ] の [多角形変換] をクリックすると、頂点ごとに変形できる多角形の部屋に変更できます。



▶ 多角形部屋の頂点の編集方法 頂点を編集することで、部屋の形を自由に変形でき、自在に作図できます。

頂点を追加



辺をクリック

頂点を削除



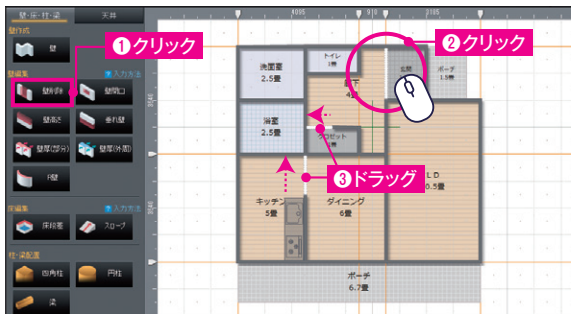
クリックし[Delete]キーを押す

頂点を移動



頂点をドラッグ

2 壁を編集します



躯体編集 を選択します。

- ① パレットの[壁削除]をクリック。
- ② 玄関と廊下の間の壁をクリックで削除。
- ③ キッチンとダイニング、クロゼットと廊下の一部の壁をドラッグで削除。

削除した壁の両端にある黄色のハンドルでサイズを変更できます。

壁編集を削除する時は、選択して[Delete]キーで削除します。

壁の開閉部いろいろ



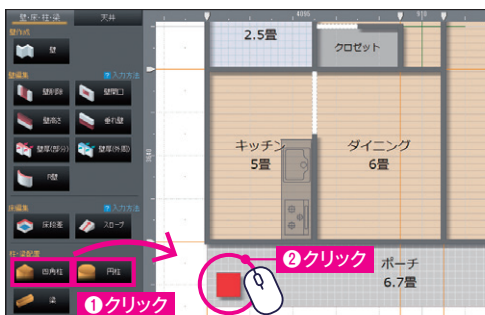
部屋をつなげる場合や、壁の一部を削除する時に使用します。

対面キッチンなどを作成する時に、開口の位置・高さを指定して作成します。

部屋の境や床の間に垂れ壁を作成するときに使用します。

階段の手すり部分などを作成する時、床からの高さを指定して作成します。

3 柱・梁を配置します



躯体編集 を選択します。

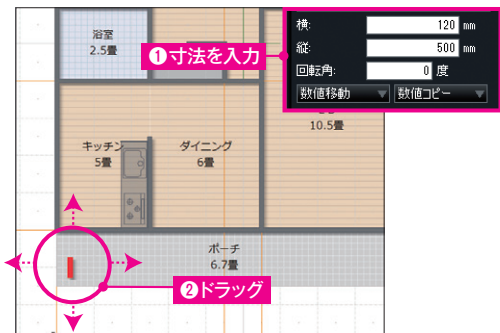
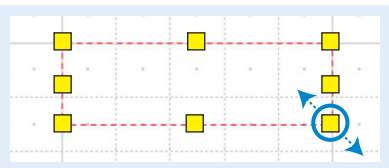
- ① パレットの[四角柱] (または[円柱]) をクリック。
- ② 配置したい場所でクリック。

柱の高さは、自動で床から天井までの高さで設定されています。

サイズや位置を調整します。

- ① 画面右側の[柱プロパティ]で、寸法を入力してサイズを調整。
- ② 柱をクリックして、ドラッグで位置を調整。

梁は、黄色のハンドルをドラッグしてサイズを変更します。



壁をR壁にするには...

ナビの【**躯体編集**】を選択します。パレットの【**R壁**】をクリックし、編集したい壁をクリックします。入力形式を選択してサイズを入力し、【**OK**】をクリックして、図面上でマウスを動かして方向を指定します。



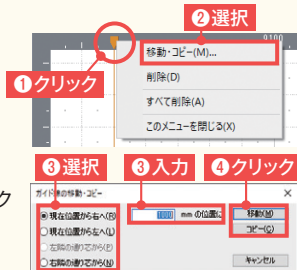
間取りをレイアウトする際に便利な設定

ガイド線の設定

作成するプランに合わせてガイド線を設定しておく
と作成がスムーズです。

数値移動・コピー

- 1 マーカーをクリック
- 2 「移動・コピー」を選択
- 3 方向を選択し距離を入力
- 4 【移動】または【コピー】をクリック



削除

- 1 削除したいルーラーをクリック
- 2 「削除」を選択

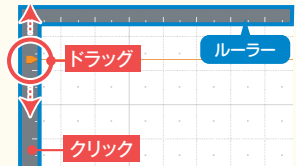


移動

マーカーをドラッグ

追加

ルーラーをクリック



グリッドの分割数を変更

頂点や部屋はグリッドに吸着します。プランを作成し
やすいように、任意のグリッド(分割数)を設定できます。

- 1 【グリッド分割】をクリック。
- 2 任意の分割数を選択。



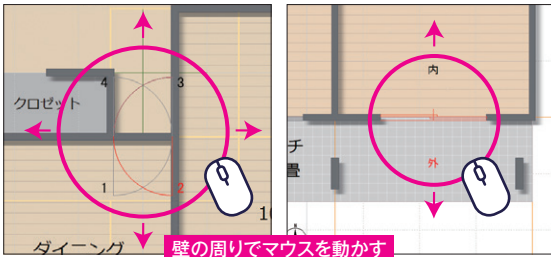
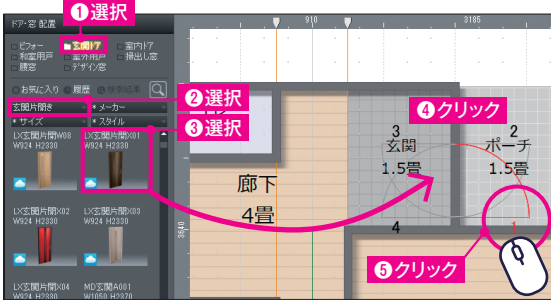
ルーラー上を
右クリックでも
設定できます。

階数・階高・壁厚の変更

スキップフロアなど階によって高さが異なるときは、
画面右上の【階数・階高・壁厚設定】ボタンをクリック
し、【階数・階高・壁厚設定】画面より変更できます。



4 ドア・窓を配置します



ドア・窓 を選択します。

- ① パレットの**[玄関ドア]**を選択。
- ② **[種類]**をクリックし、**[玄関片開き]**を選択。
- ③ パレットから**[LX玄関片開X01]**を選択。
- ④ 壁の上で**クリック**。
- ⑤ 壁の周りでマウスを動かし、開閉方向を表す赤い線が目的の方向にきた場所で**クリック**。

同じ要領で他のドアや窓も配置します。

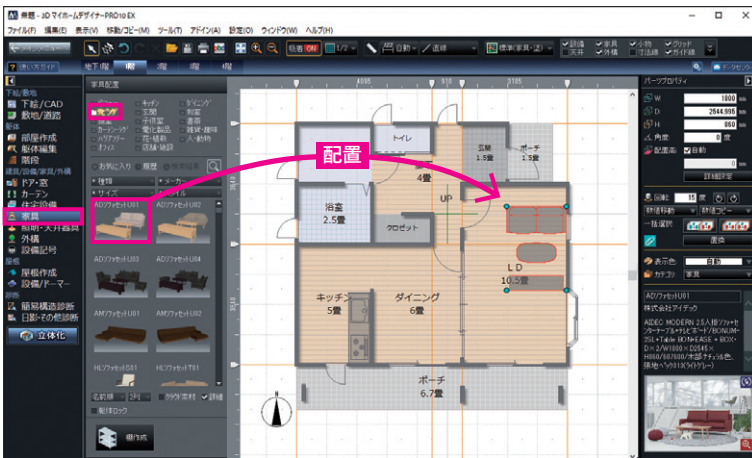
配置しているドアはクラウド素材を使用しています。
[クラウド素材とは参照P.10 クラウド素材(データセンター)について]

グリッドに吸着して配置しにくい場合は吸着をOFFにします。



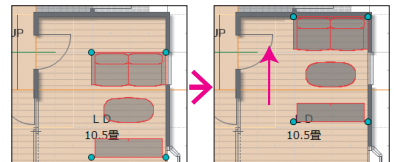
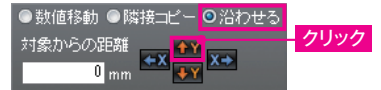
5 設備・家具・照明器具を配置します

家具 を選択し、リビングにソファセットを配置します。 [家具の配置方法: 参照P.04 システムキッチンの配置]



配置後、位置を調整します。

シフトパッドの「沿わせる」を選択し沿わせる方向をクリックすると壁や他の家具に沿って配置できます。



テーブルやソファなどの大きい家具は間取りで配置すると位置の調整が容易です。小物類は立体化後に配置します。

同様の手順で、
浴室やトイレなどの設備は **住宅設備** から、照明器具は **照明・天井器具** から配置します。

クラウド素材(データセンター)について...



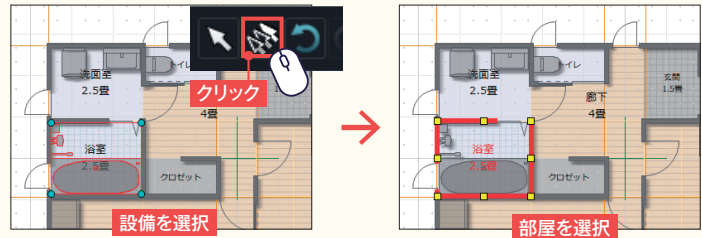
パーツパレットで雲のマークがついているパーツは、クラウド素材です。

クラウド素材をご利用になるにはデータセンターの正会員(有償)の登録が必要です。
クラウド素材をパレットから配置した際に表示される画面でデータセンターにログインして使用します。*(1か月の無償期間がついています。)

パーツなどの選択・表示・整列について

部屋やパーツが重なって選択できない時

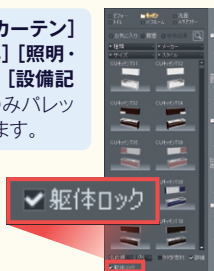
部屋や階段などが重なって選択できない場合は、重なって配置されている箇所をクリックし、ツールバーの[選択を背後に切替]をクリックすると選択対象が切り替わります。また、キーボードの[スペースキー]でも同様の操作ができます。



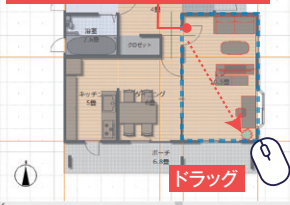
躯体をロックする

部屋にある複数のパーツを一度にまとめて選択する時に、パレット下部にある[躯体ロック]にチェックを入れると部屋がロックされるので、ドラッグでまとめて選択できます。

☑ [躯体ロック]は[カーテン][住宅設備][家具][照明・天井器具][外構][設備記号]ナビ選択時のみパレット下部に表示されます。

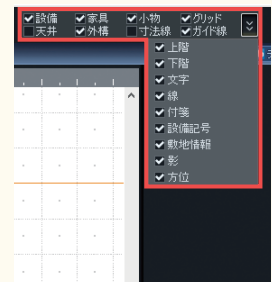


躯体はロックされ選択されない



図面上に表示するものを変更する

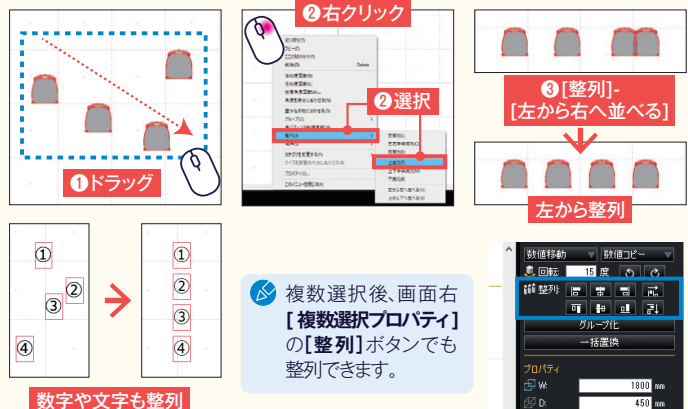
ツールバーの[表示切替]でチェックを切り替えると、表示物を変更できます。



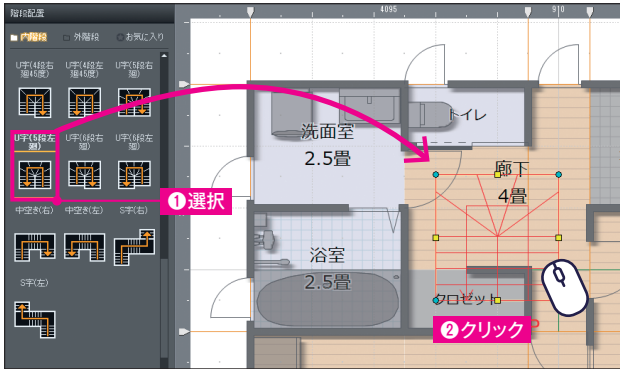
パーツや文字などを整列する

- ① 整列したいパーツ(文字)をドラッグで囲むように選択。(またはshiftキーを押しながらクリックして選択。)
- ② 右クリックし[整列]-[上揃え]を選択。上端が一番上のパーツに揃います。
- ③ もう一度右クリックし[整列]-[左から右へ並べる]を選択。

数字も同様に[整列]の、[左右中央揃え]と[上から下へ並べる]で整列。

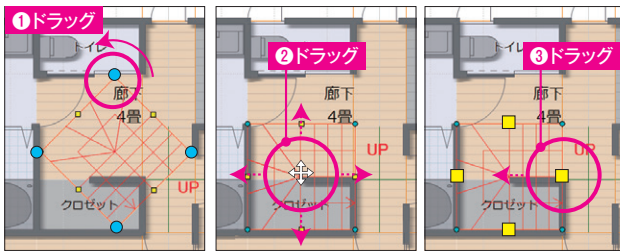
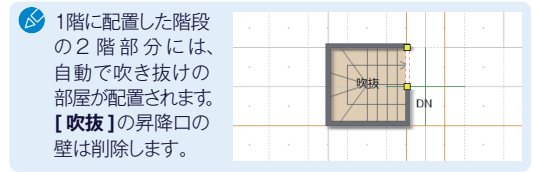


6 階段を配置します



階段 を選択します。

- ① パレットをスクロールし、**[U字(5段左廻)]**を選択。
- ② 廊下の上でクリック。

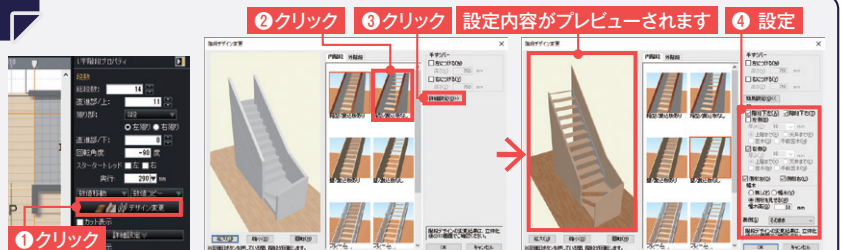


形状や位置を調整します。

- ① 水色のハンドルをドラッグして回転させ、方向を変更。
- ② ドラッグして、クロゼット左・下の壁芯に移動。
- ③ 黄色のハンドルをドラッグして、クロゼット右の壁芯内に収まるようにサイズを変更。

階段のデザインを変更するには...

階段を選択し、プロパティパレットの**[デザイン変更]**をクリックします。**[階段デザイン変更]**が表示されたら、デザインの種類をクリックして変更します。手すりバーの設定もできます。また、**[詳細設定]**をクリックして壁や桁材、幅木の変更もできます。



7 上階の間取りを作成します

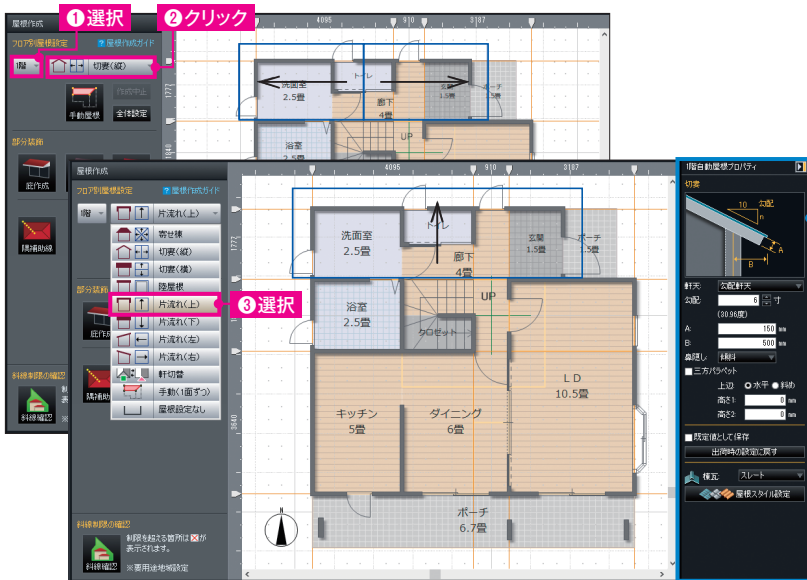


フロアタブを2階に切り替えます。

部屋作成 に切り替えて1階と同様の操作で、2階の間取りを作成します。

下階の間取り(薄いグレーの線)を参考に部屋を配置します。

8 屋根を作成します

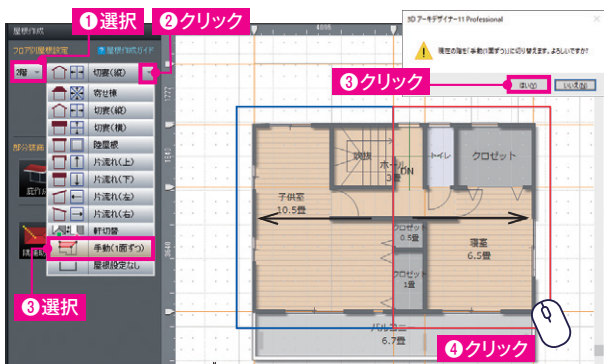


屋根作成を選択します。

- ① [1階]を選択。
- ② [▼]をクリック。
- ③ [片流れ(上)]を選択。

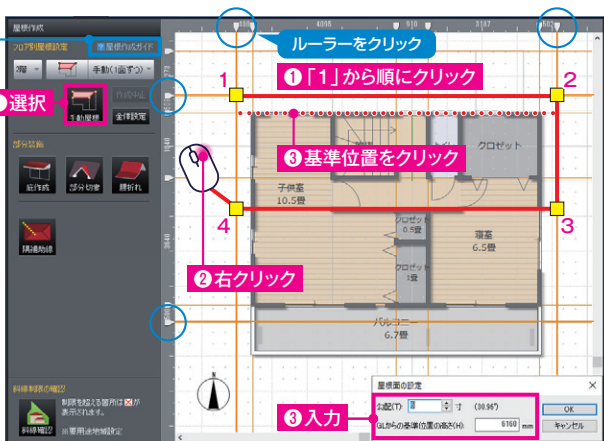
勾配、軒天、軒の出などは[屋根プロパティ]で設定します。

ポーチやバルコニーに屋根をつける時は[部屋作成]ナビで部屋をクリックし、部屋プロパティパレットの[屋根をつける]にチェックを入れます。



2階は、手動で屋根を作成してみましょう。最初に、自動で作成された屋根を削除します。

- ① [2階]を選択。
- ② [▼]をクリック。
- ③ [手動(1面ずつ)]を選択し、出てきたダイアログで[はい]をクリック。
- ④ 自動で設定された屋根をクリックし、[Delete]キーで削除。残りの屋根も同様に削除。



ルーラーをクリックし、軒先の位置(4か所)にガイド線を設定します。

作例では軒桁から500mmの位置に設定しています。[ガイド線の設定: 参照 P08 間取りをレイアウトする際に便利な設定]

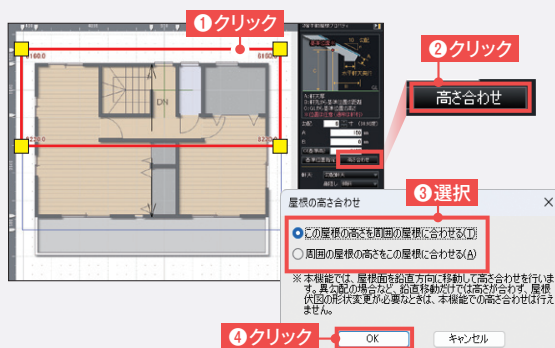
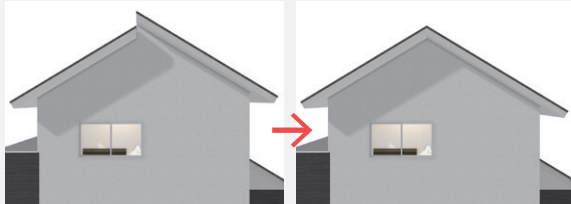
手動で、切妻の屋根を作成します。

- ① [手動屋根]をクリックし、ガイド線に沿って、軒先になる「1」「2」から順に「4」までクリック。
- ② 何もないところで右クリックで終了。
- ③ 基準位置(今回は軒桁)をクリックし、勾配とGLの高さを入力。
- ④ 反対側の屋根も同様に作成します。

屋根作成ガイド パレットの「屋根作成ガイド」をクリックすると、様々な屋根面の作成法など手動による屋根作成の詳しい作り方を確認できます。

高さが合っていない手動屋根の棟を合わせるには...

高さを合わせたい屋根をクリックし、手動屋根プロパティパレットの**[高さ合わせ]**をクリックします。高さの合わせ方を選択し、**[OK]**をクリックすると、選択した内容で屋根の棟の高さを自動で揃えます。



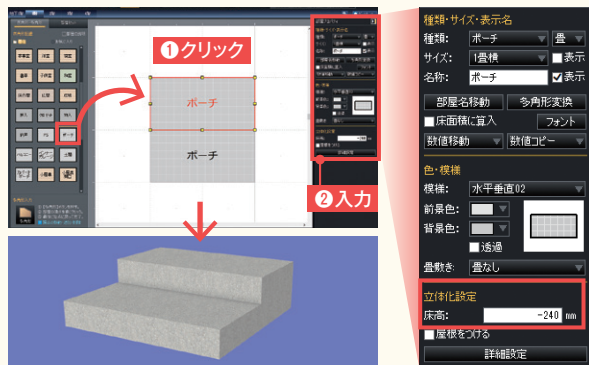
住居以外の作成について (外構)

玄関先の階段やステップなどの段差の作成

高さの違うポーチを配置して階段状にします。

部屋作成 を選択します。

- ① ポーチを2つ配置。
- ② プロパティパレットの**[立体化設定]-[床高]**で、ポーチの1つ目と2つ目の高さを変えて入力。
(ここでは、1つ目は「-240」、2つ目は「-425」に設定)



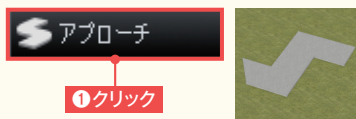
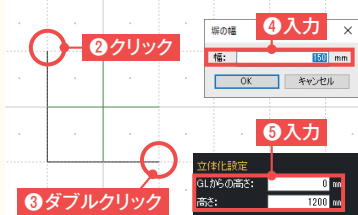
塀やアプローチの作成

外構 を選択します。

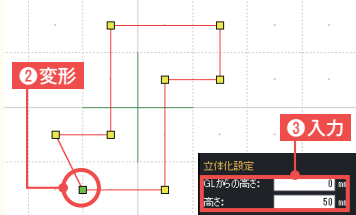
[形状の変形方法について：参照P.06 多角形部屋の頂点の編集方法]



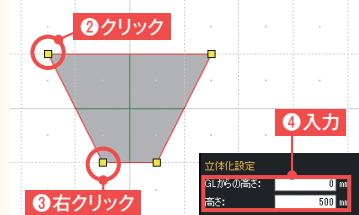
[塀]をクリックします。始点から順に頂点をクリックし、最後の頂点でダブルクリックします。塀の幅を入力し、厚みを持たせる方向を指定します。次にプロパティパレットで高さを入力します。



[アプローチ]をクリックします。L型の仮形状を配置します。頂点を編集し希望の形を作成します。次にプロパティパレットで高さを入力します。



[自由入力]をクリックします。頂点を順にクリックし、最後は始点に戻って右クリックします。プロパティパレットで高さを入力します。



住居以外の作成について(敷地)

多角形で敷地を作成

敷地/道路 を選択します。

- ① [多角形]をクリック。
- ② 敷地の頂点を「4」まで順番にクリック。
- ③ 何もないところで右クリックで終了。



座標を入力して敷地を作成

敷地/道路 を選択します。

- ① [座標入力]をクリック。
- ② 頂点数を入力し、[頂点数変更]をクリック。
- ③ 各頂点の座標値を入力。

座標値は、座標ファイル(OSV・SIM・TXT)の読み込み、コピーした座標値の貼り付けでも入力できます。



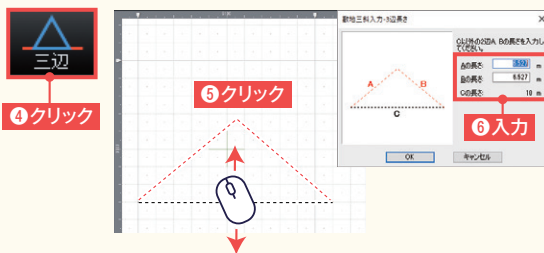
三斜測量図で敷地を作成

- ① [基準線入力]をクリック。
- ② 基準線の長さや角度を入力。
- ③ 作図エリアをクリックし、基準線を入力。
- ④ 三角形の入力方法 (A) [三辺指定]か (B) [二辺+垂線指定]を選択し、それぞれの方法で入力。



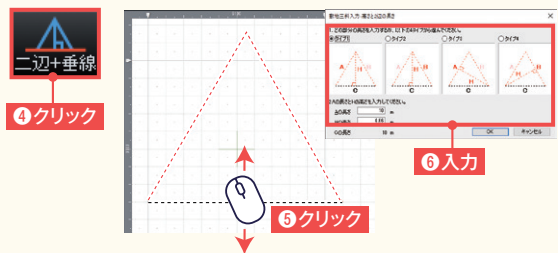
(A) [三辺指定]

パレットの[三辺]をクリックします。基準線の周りでカーソルを動かし、目的の形になったらクリックして長さを入力します。



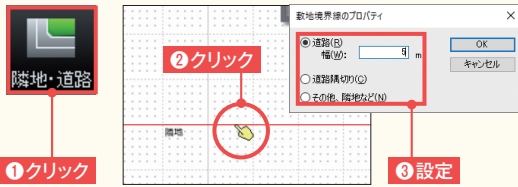
(B) [二辺+垂線指定]

パレットの[二辺+垂線]をクリックします。基準線の周りでカーソルを動かし、目的の形になったらクリックします。長さを入力する箇所を選んで、長さや高さを入力します。



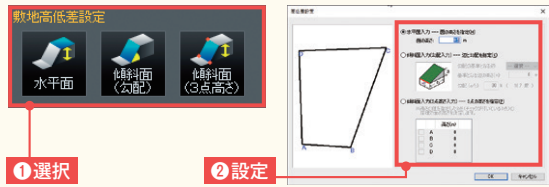
住居以外の作成について (道路)

道路や隣地の設定



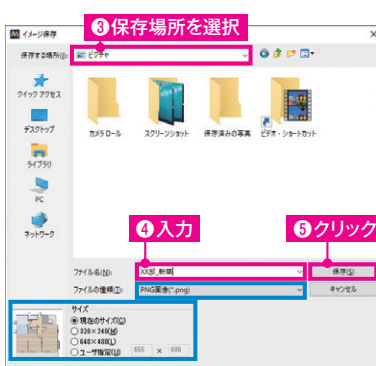
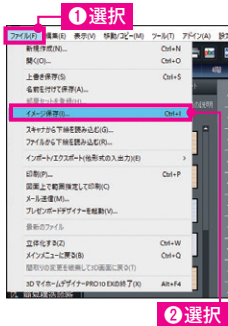
【隣地・道路】をクリックし、敷地の境界線をクリックした後に道路など、設定する種類を選びます。

敷地の高低差設定



作成する敷地面にあったボタンを選択し、一面ごとに敷地を作成して高さや傾斜面を設定します。

9 作成したプランを画像出力・印刷します



プランの画像を出力します。

【ファイル】メニューの【イメージ保存】を選択し、保存する場所の指定、ファイル名の入力をして【保存】をクリック。

🔗 【ファイルの種類】でファイル形式を変更できます。

🔗 【サイズ】にて、出力する画像サイズを指定できます。



プランを印刷します。

ツールボタンの【印刷】をクリックし、【印刷】ダイアログで各項目を設定し、【印刷】をクリック。

🔗 縮尺を指定するときは、【ユーザー設定】にチェックを入れ、縮尺を指定します。

🔗 ツールバーの【保存】で保存しておきましょう。



平面プランができたら



を選択し立体化します。



3Dで確認し、プランを仕上げましょう!



外壁や屋根、壁紙・床材など
外装・内装を設定します。

STEP4 3Dでデザイン検討

外観の意匠を調整し、デザインプランを仕上げます。

3D画面

フロアタブ

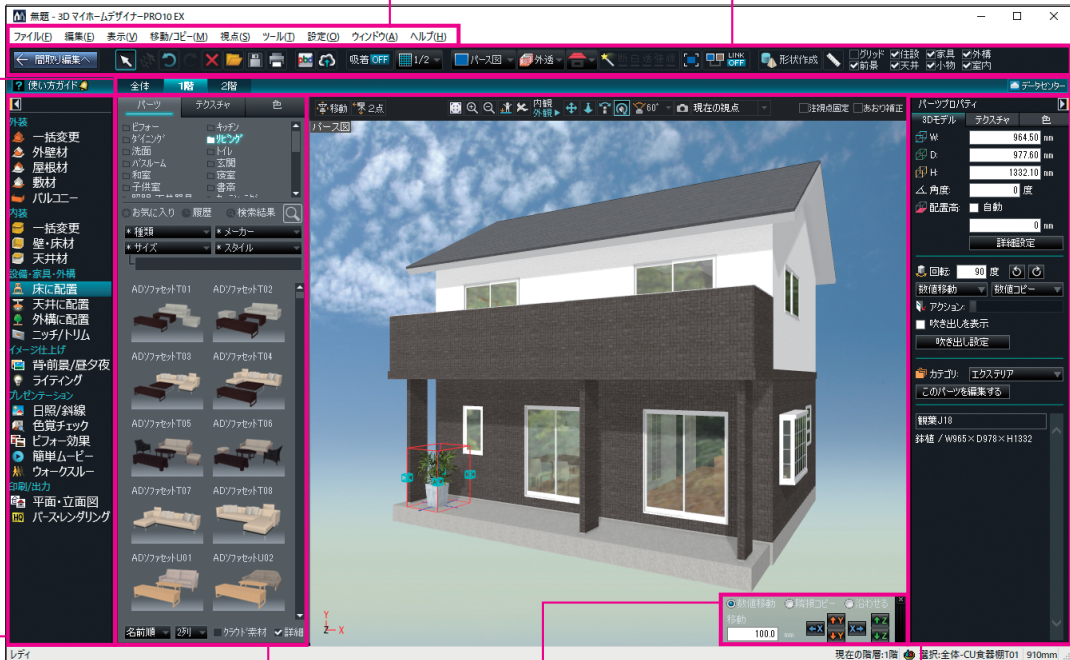
編集するフロアを選択し、切り替えます。

メニューバー

搭載されている機能を、項目ごとにまとめています。

ツールバー

よく使う操作をワンクリックで実行できるように、ボタンで表示しています。



ナビボタン

ナビボタンを選択すると、作業内容に応じたパレットに切り替わります。

パレット

選択したメニューや「ナビ」によって、作業に必要な素材、設定項目が表示されます。

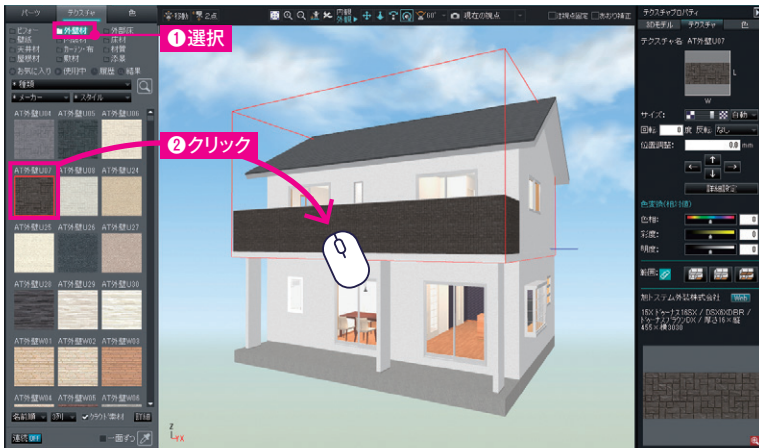
シフトパッド

家具や入力済みの壁などを選択すると表示されます。数値移動やコピーができます。

プロパティパレット

選択した要素の設定項目や詳細情報が表示され、編集できます。

1 3Dイメージを確認しながら、外壁や床材を変更します



外壁材 を選択します。

- ① パレットの[外壁材]を選択。
- ② パレットから[AT外壁U07]を選び、外壁をクリック。

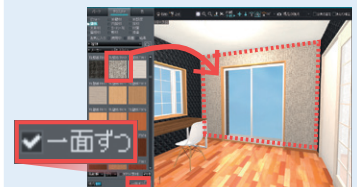
ナビによって壁の表示方法が変わります。表示は、ツールバーの[壁表示切替]から変更できます。



壁・床材 を選択します。

- ① パレットの[壁紙]を選択。
- ② 登録視点リストから[1階LD]を選択し、視点ツールで視点を移動。
- ③ パレットから[LY壁紙W54]を選び、壁をクリック。

[-一面ずつ]にチェックを入れると、一部分の壁のみに貼り付けることができます。



【視点の移動方法：参照P.18 視点の設定方法】

▶ 外壁材 / 壁・床材 (テクスチャ) の貼り付けテクニック

テクスチャの拡大・縮小



床材などを貼り付けた後に、テクスチャプロパティの[サイズ]の[拡大]をクリックすると、貼り付けた床材が拡大します。[縮小]をクリックすると縮小します。

テクスチャの回転



床材などを貼り付けた後に、テクスチャプロパティの[回転]で角度を設定すると回転します。

視点の設定方法

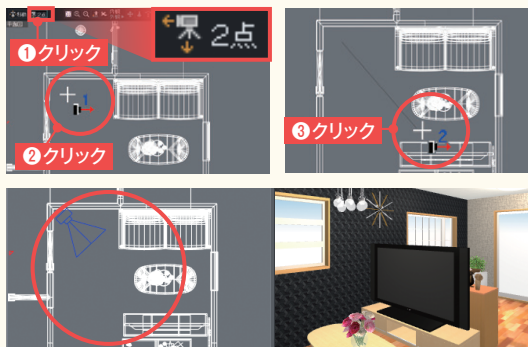
部屋ごとに視点を移動させる

視点変更ツールの[登録視点リスト]から見たい部屋を選択すると、あらかじめ登録されている視点に移動できます。



立つ位置と見る方向を設定して決める

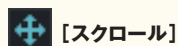
[立つ位置と見る方向を決める]をクリックします。平面図上で立つ位置をクリックし、次に見る場所をクリックすると、指定した視点に移動できます。



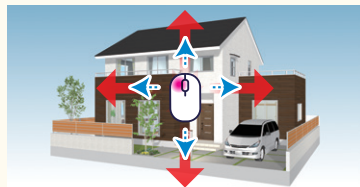
建物を回転させたり、近づいたり、遠ざかったりする



視点変更ツールの[外観]をクリックすると、外観を見るのに適した視点変更ツールに切り替わります。



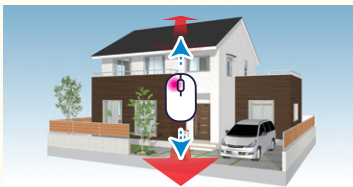
[スクロール]



パース図上で上下左右にドラッグすると、ドラッグした方向に移動します。



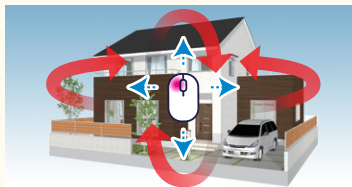
[ズーム]



パース図上で下にドラッグすると近づき、上にドラッグすると遠ざかります。



[回転]

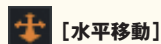


パース図上で上下左右にドラッグすると回転します。

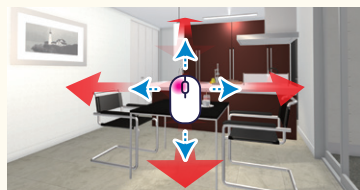
室内を歩くように視点を移動したり、室内を見回したりする



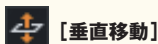
視点変更ツールの[内観]をクリックすると、室内を見るのに適した視点変更ツールに切り替わります。



[水平移動]



パース図で上下左右にドラッグすると、室内を歩いているように視線を移動します。



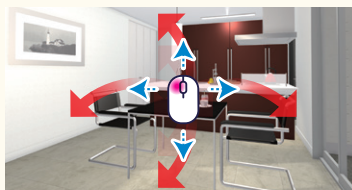
[垂直移動]



パース図で上下にドラッグすると、今いる場所で視線を上げたり下げたりします。



[見回す]



パース図で上下左右にドラッグすると、今いる場所で室内を見回せます。

2 小物などを配置します



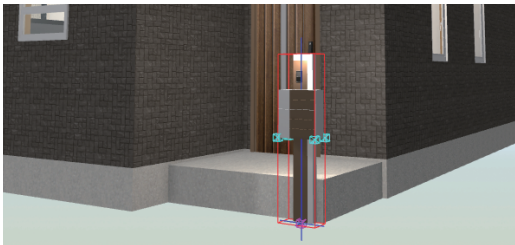
床に配置 を選択します。

- ① パレットの【花・植物】を選択。
- ② 【種類】をクリックし、【花・グリーン】を選択。
- ③ 視点ツールを選択しリビングのソファセット前に視点を移動。
- ④ パレットから【HK室内花T02】を選び、テーブルの上でクリック。

絵画や壁掛け時計は、壁の上でクリックし配置します。

外構に配置 を選択し、インテリアと同じようにポストを配置します。

【種類】をクリックし、【ポスト】を選択してパレットから配置します。



3 イメージを仕上げます

背景景/昼夕夜 を選択し、雰囲気に合わせて背景などを設定します。
パレット上部のタブを切り替えて設定します。

背景設定 背景を設定します。



前景設定 前景を設定します。



解除するときは、パレット下部の【前景を解除する】をクリックします。

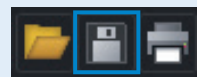
🔗 **【昼・夕・夜切替】**を使えば、昼・夕・夜の雰囲気に合わせてワンタッチで設定を切り替えることができます。

昼夕夜 切替



完成です!

🔗 完成したデータはツールバーの**【保存】**で忘れずに保存しておきましょう。



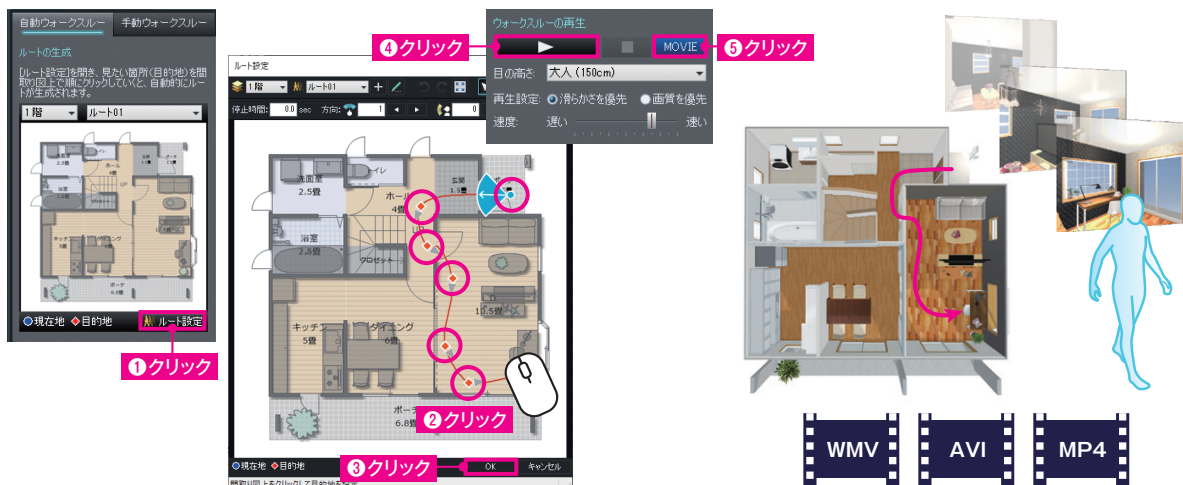
STEP5 | プレゼン資料への展開

作成したデータから、さまざまなプレゼン資料に展開できます。

ウォクスルーで建物の中を歩きながらプレゼン ウォクスルーの軌跡を登録 / 再生 / 出力

ウォクスルー を選択

間取り図で見せたいところをクリックし、軌跡を作成するだけで、建物を歩かまわのようなウォクスルーを作成できます。ドアの開き勝手や、家具を置いたときのスペースや動線など、図面だけでは伝わらない空間を確認できます。作成したウォクスルーはWMV/AVI/MP4形式のビデオファイルに出力できます。



作成したパースイメージの出力 印刷 / 画像出力 (イメージ保存)

HQ パースレンダリング を選択

作成したパースは決めた視点で印刷・出力できます。サイズなどを指定し、出力したい視点に調整して出力します。





建築パース高速作成オプション

高画質レンダリング Optimage(オプティマージュ)

HQ パースレンダリング を選択

高画質の外観・内観パースを作成できます。サイズや形式を指定して出力します。インターネット上の専用サーバーでレンダリングを行います。最大10000×10000ピクセルで出力できます。

※Optimageは、3Dマイホームデザイナー-PRO10EX、3Dインテリアデザイナー-Neo10に標準搭載。3Dマイホームデザイナー-PRO10、3D住宅リフォームデザイナー-10はレイトレースレンダリングを搭載。



保存できる画像ファイルの形式は PNG・BMP・JPEG です。



作成データを元に、プレゼンボードを自動作成

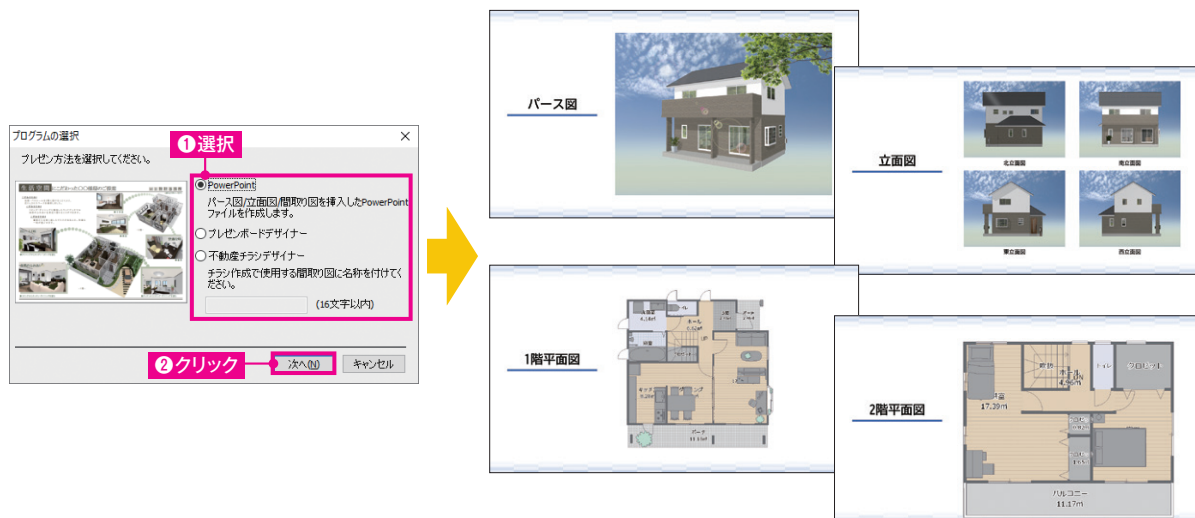
パース図/立面図/平面図をプレゼン用フォームに自動挿入



を選択

作成したデータのパース図/立面図/平面図を、Microsoft®PowerPoint®形式などで用意されたプレゼンボードフォーマットに自動挿入し、プレゼンボードを作成できる機能です。プレゼン方法を選択すると、パース図/立面図/平面図が配置されたプレゼンボードが作成されます。

※PowerPoint出力機能を使うには、パソコンにPowerPointがインストールされている必要があります。



作成したパースイメージを外部SNSで共有 360°パノラマ画像出力

HQ パースレンダリング を選択

完成したパースを360度見渡せる「360°パノラマ画像」に出力できます。出力した画像はFacebookやLINEに投稿でき、誰でも見ることができます。



作成したデータをモバイルで共有 建築情報共有サービス イエクラウド

イエクラウド を選択

作成データを共有できるサービス「イエクラウド」にアップロードすれば、スマートフォンなどモバイルで3Dデータや間取り図を確認できます。



企画・制作・販売:メガソフト株式会社 プログラム開発:メガソフト株式会社/株式会社サイバーウォーカー Copyright©MEGASOFT Inc.

●「マイホームデザイナー®」は、メガソフト株式会社の登録商標です。●Optimagelには、mental image社のmental ray®技術が使用されています。

●本クイックガイドに掲載されている商品・サービス等の名称は、各社の商標または登録商標です。詳しくは<https://www.megasoft.co.jp/support/3d/trademark>をご覧ください。

MEGASOFT®

<https://www.megasoft.co.jp>